

令和7年度7月定例教育委員会議事録

【日時】

令和7年7月18日（金）

開会 午後1時30分

閉会 午後4時00分

【会場】

辰野町民会館 104 学習室

【出席者】

10 名

（辰野町教育委員会）

教育長	宮澤 和徳
教育長代理	飯澤 隆
教育委員	垣内 由佳
教育委員	関 政彦
教育委員	萩原 多恵子

（事務局関係）

学びの支援課長	福島 永
学校支援課長	竹村 智博
学校支援課長補佐	宮原 隆史
学校教育係長	小澤 靖一
教育総務係	中沢 大輔

【傍聴者】

0 名

【次第】

1 議事

- (1) 【非公開】 準要保護援助費の認定について
- (2) 【非公開】 区域外就学について

2 協議

- (1) 【非公開】 学校の様子及び運営上の諸課題
- (2) 町内小・中学校 1 学期の反省について
- (3) 生徒指導対応について
- (4) 最近の教員による非違行為について
- (5) 町教育委員会研修視察について
- (6) 小中学校あり方検討委員会 今後の推進について
- (7) その他

3 報告事項

- (1) 各学校の夏休み生活
- (2) 夏休み中の子供に係る口座・イベント等（教育委員会・公民館）
- (3) 夏休み中の学校関係工事
- (4) 「二十歳のつどい」への参加について
- (5) 幼保小中高校職員合同研修会（7/28）
- (6) その他

○開会

1 開会宣言

2 会期の決定

- ・会期については1日とする。全員異議なし。

3 議事録の承認

- ・承認。

4 宮澤教育長挨拶

こんにちは。今日、遂に関東甲信の梅雨が明けたとの報道がありました。6月の猛暑、7月に入っても猛暑は続きましたが、大気が不安定になり、ほぼ毎日の様に夕方から夜は雨、時には豪雨が続きました。

町内小中学校は、いよいよ来週木曜日24日、西小学校以外の学校が1学期の終業式を、翌25日金曜日に西小が終業式を迎え、子ども達が楽しみにしている夏休みに入ります。子ども達にとって、長い夏休み、一人一人普段は経験できない様な事ができる休みになればと思います。

7月2日には、上伊那市町村教育委員会連絡協議会の研修総会が、箕輪町で開催、委員の皆さんにも参加頂きました。箕輪カルタ、郷土博物館、みのわベース等を見学、箕輪町の特徴的な事に触れ、これからの辰野町にも参考になる事例も見る事ができました。

先週の日曜日、13日には、ご自身のご両親が満州から引き上げて来られたという満蒙開拓平和記念館寺沢館長さんの講演会「満蒙開拓の史実から学ぶもの」と題しての話をお聴きしました。私達教員は、上伊那教育会の負の遺産として、教え子を満州に送った苦い教訓を以て、教え子を再び戦場に送らないを合言葉に取り組んできましたので、私自身、満蒙開拓についてはかなり理解しているつもりでいましたが、寺沢さんのお話をお聴きして、今迄の私の理解が如何に薄っぺらいものであったか思い知らされました。話を聴いていて言葉にも詰まり胸も詰まり、最後のお礼の言葉が大変でした。辰野町から318名、15歳から18歳という青少年義勇軍は42名、犠牲者154名、内青少年義勇軍8名、私達の周り、近くにも満蒙開拓に関わった人もかなりいる筈ですが、殆ど表に出ません。この満蒙開拓団の事実は戦後、国としても不都合だったかもしれません。館長さんの「忘れてはいけない歴史であり、二度と繰り返してはならない歴史がある」、この言葉は深く、心に残っています。これから暑い夏、戦後80年の夏が始まります。様々な企画が計画されていますので、教育委員の皆さんも都合が付きましたら是非、戦後80年の企画をご覧頂きたいと思います。

さて、今日の定例教育委員会では、準要保護援助費の認定、区域外就学について、

協議として、学校の様子、小中学校 1 学期の反省、教員による非違行為、あり方検討委員会等です。それではよろしくお願いします。

5 議事

(1) 【非公開】 準要保護援助費の認定について

- ・小澤学校教育係長より説明。承認。

(2) 【非公開】 区域外就学について

- ・小澤学校教育係長より説明。承認。

6 協議

(1) 【非公開】 学校の様子及び運営上の諸課題について

- ・宮澤教育長より説明。

資料として「学校の様子及び運営上の諸課題」、「7 月校長会資料」を提示。

(2) 町内小・中学校 1 学期の反省について

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として「令和 7 年度 1 学期教育課程等の反省」を提示。

【辰野西小】

- ①子どもの自己肯定感、自己有用感、共感的人間関係の向上をベースに「誰もが認められる楽しい学校を目指してきた。折に触れて働きかけを行ってきたが、なかなか実践に結びつける事が難しい先生もいたとの事。
- ②「意欲的、主体的に活動する子ども」を目指す学校という事で、「問を持ち」「追及する子」を目指す授業づくりを目指してきて、実践する職員は多いと感じるが、校長としては具体的に取り組む事ができていない。
- ③子どもの意識を大切にしたい地域学習を昨年度から力を入れており、子どもの意見を取り入れたり、職員側から押し付けるのではなく、子どもに返し考えさせる場を設けたりしている。

【辰野東小】

- ①（校長としての願い）「自立に向かう姿」を全教職員が意識して目指す。子ども達が「挑戦できる場」、「自ら考え行動できる場」をつくっていく。総合的な学習の時間は、自分達が楽しい段階で止まっていて、ダイナミックな内容は見られない。外に出る意識の後押しをしたい。「自由に色々な事ができる」「やってみたい」とする意識が先生方に少しずつ意識付いてきているように感じる。
- ②（教育課程、生徒指導・支援）「この子が自分の子どもであったならば」「この

子が自分の姉弟であったならば」という気持ちで子ども達を見つめ、自分の行いを見つめ振り返りを行いたい。

- ③（先生方への意識改革、資質向上に向けて）歯科健診時に養護教諭と特別支援学級担任との連携ができておらず、受診ができなかった。それぞれの立場を明確にするよう教頭へ指示、校長から家庭へ連絡し謝罪。校医にも連絡し、後日、受診できるよう配慮して頂いた。私達は、一人の子どもを大切にしているかと問い直す必要がある。
- ④（2学期の方向）「挑戦」を後押ししたいが、具体的にはどんな挑戦ができそうか先生方と考えていかなければならない。

【辰野南小】

- ①（校長としての願い・反省）「つたえあい、こたえあい、うけとめよう」を大切にしようとしてきた。具体化の為に「自分から伝え合い」という活動をどの様に仕組んでいくか。自分から行動する機会を大切にしていける。まだ声も小さい、聞く態度ももう少し。児童の姿を見る様にしていきたい。
- ②（教育課程、生徒指導・支援）1学期の反省を踏まえ、課題を整理し、プロジェクトを立ち上げていく。2学期中には方向性を出し調整を図る。行事のあり方は考えていきたい。50周年記念事業に向けて、児童の意欲の高まりを地域へ発信し、地域の皆さんとの関わりを持っていきたい。

【辰野中】

- ①（校長としての願い・反省）4月に生徒が様々な支援や援助を受けながら、最後は自ら考え決め出して欲しいと訴えた。3年生を中心に「自分達で考えたい」「自分達で決めていきたい」とする気風が強く、この1学期中にも幾つかの企画を計画し、取り組みを行った。体調を崩している職員に対する対応を含め、周りの職員の息苦しさや、やりにくさを感じる様な訴えもあった。
- ②（教育課程、生徒指導・支援）研究主任を中心に「問いから問いに繋がる授業」を合言葉に、生徒の心が動く様な問いかけや発問を工夫しようとしている。授業の週末部分を大事に扱い、次の学習に繋げる取り組みへの問題意識も、若い職員を中心に高まってきている。
- ③（職員の意識改革、資質向上に向けて）生徒指導上の問題があった時、学校としての対応や職員の危機管理等に大きな反省が残った。情報が直ちに必要な職員及び管理職に伝達・共有されなかった。発生した事案に対し、どの様に関係職員や周りの職員が対応していくか方向性が定まらず、個々が勝手に動いてしまった。指揮系統が不明確で、校長を頂点に何をするのか、個々がどの様な役割を以って事案に対処していくかはっきり打ち出せなかった。結果、各所への報告・相談が総て後手になった。今回の事案を教訓に、事案発生時には、全職員で状況（内容と指導の方向）を共有し、互いに学び合いながら一枚岩となっ

て対応していく。

- ④（２学期の方向）「地域と繋がって、地域へ出る、地域と交流する」機会を２学期も多く取っていく。学校の決まりの見直しは、生活委員会を中心に問題意識を全校で共有している。制服見直しは、教員側で方向を示し、生徒代表も加え、学習会から開催していく。

（３）生徒指導対応について

- ・宮澤教育長より説明。生徒指導における基本を確認。
資料として「生徒指導は組織で迅速に対応する」を提示。
 - １．生徒指導主事は教職員全員を動かす司令塔
 - ２．教頭は状況を全て把握し、判断し、生徒指導主事等に指示を出す。校長は決断する立場。そして全ての責任は校長が負う。
 - ３．記録の重要性（時系列に従って事実を記録）
 - ４．具体的な対処（発生から指導まで）
 - ５．日々の学校生活の中で意識したいこと（生徒理解、組織対応、説明責任）

（４）最近の教員による非違行為について

- ・宮澤教育長より説明。
- ・最近の全国での教員による非違行為の報道を受け、研修実施を全校に指示。今回の事例を受け先生方がどの様に受け止めているのか、何故起こったのか、どうしたら無くす事ができるのか、一人一人が考えられる様な研修にして欲しいと伝えている。
- ・辰野中学校では７月 25 日に教育長による研修を行う。研修での資料としてパワーポイントの資料を提示。

< A 委員 >

こういった事件が起きると、その学校の同僚の先生方の気持ちもとても落ち込んでしまいます。先生達、或いは子ども達も大変な事になります。地域の方からの信頼が凄く落ちてしまいます。校長先生が替わっても変わらないのではないかと冷たくなります。少しずつ元に戻ってはいきませんが、一旦事件が起きると、戻るには物凄い労力が掛かりますので、絶対にあってはならない事だと思います。

（５）町教育委員会研修視察について

- ・上伊那教育会は渋谷区へ視察に行ったとのこと。
次回に資料をまとめて、時期について検討予定。

(6) 小中学校あり方検討委員会 今後の推進について

- ・宮澤教育長、竹村学校支援課長より説明。
- ・資料として広報たつの掲載予定記事・原稿を提示。
- ・検討が進んでいるが、町民にはあまり知られていないのではないかといい事で、広報たつので連載式に今後載せていく予定。第1回目を8月号に掲載予定。第1回では子どもの人口推移、第2回で検討状況の概要について掲載を予定している。

(7) その他

- ・熊の出没について竹村学校支援課長から説明。
資料として「令和7年度 ツキノワグマ出没（目撃）マップ」を提示。
- ・昨年の同時期と比べ2倍の数になっている。7月1日に中央で目撃があったといいう事で、熊鈴を昨年一部の小学生に配布していたが、街中での目撃が出た為、全小中学生に配布する予定。

7 報告事項

(1) 各学校の夏休み生活

- ・昨年から変更点が無い為、資料提供無し。
- ・プール開放は南小学校のみ。

(2) 夏休み中の子ども講座・イベント等（教育委員会、公民館）

- ・福島学びの支援課長より説明。
資料として「令和7年度 辰野町公民館 夏のイベント」を提示。
大城山ウォーク、レッツトライ親子スポーツスクール、夏休み親子映画

(3) 夏休み中の学校関係工事

- ・宮原課長補佐より説明。資料として「R7 各学校関係工事等一覧表」を提示

(4) 「二十歳のつどい」への参加について

- ・福島学びの支援課長より説明。

(5) 幼保小中高校職員合同研修会（7/28）

- ・教育総務係中沢より幼保小中高校職員合同研修について説明。
「ヤングケアラー研修会～孤立させない社会を作るために～」

8 閉会